

美濃陶磁歴史館だより



連続 うちんたあのお宝、なんやね？
コラム 第26回 史跡を守り受け継ぐということ

乙塚古墳と段尻巻古墳

泉町久尻にある乙塚古墳おとづかをご存じでしょうか。隣接する段尻巻古墳だんじりまきとともに国の史跡に指定されている飛鳥時代（7世紀前半）の古墳です。美濃地方最大級の巨大な石室を持つ方墳で、当時、東美濃一帯を支配していた豪族のお墓として造られました。

宝として未来に向けて守っていくために令和元年度から史跡整備事業を進めてきました。その整備事業も3月には完了し、4月からは史跡公園としてご利用いただけるようになります。

古墳を知り尽くした研究者ですら驚く庄巻の石室は一見の価値あります。段尻巻古墳は、土岐市内最大級の円墳で、乙塚古墳に埋葬された豪族と関わりが深い有力者一族の墓と考えられています。両古墳はヤマト王権による東美濃地方支配の様子を考える上でとても重要な遺跡であることなどから、昭和13年（1938）12月14日に国指定史跡となりました。

皆さんの身近には実はたくさんのお宝があります。それらは全て先人たちが残したかけがえのない遺産といえます。その遺産を守り、未来へ向けて残し伝えていくことができるかどうかは、皆さんがこういった遺跡の存在を知ることから始まります。知り、学び、その重要性を理解してこそ、未来へと受け継いでいくこととする意志が芽生えます。

土岐市では、とても重要な史跡である乙塚古墳と段尻巻古墳を、土岐市や東美濃地域のみならず、日本の

乙塚古墳と段尻巻古墳は、史跡を守り受け継ぐことを学べる場となります。地域に残る素晴らしい遺産を知る第一歩として、ぜひ訪れてみてください。



段尻巻古墳（発掘時）



乙塚古墳（整備後）



乙塚古墳の石室内

企画展 のご案内

まもなく開催『史跡整備完了記念～乙塚古墳とその時代～』

史跡整備事業が令和4年度で完了することを記念した企画展です。乙塚古墳と段尻巻古墳だけでなく、周辺の遺跡から出土した遺物に加え発掘調査の写真なども交えながら、乙塚古墳とその時代について分かりやすく紹介します。

※現在は両古墳ともに整備工事中のため非公開です。

4月1日（土）から一般公開を行う予定です。

会期：3/4（土）～6/4（日）

美濃陶磁歴史館
☎ ☎ 1245

同時開催 重要文化財公開「元屋敷陶器窯跡出土品展」